

科目名	財務会計 I	単位数	3	必修選択	必修
教科書	高校財務会計 I (実教出版)				
副教材	最新段階式簿記検定問題集改訂版 1級財務会計(実教出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級財務会計(実教出版)				

### 教科・科目の内容

株式会社における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術の習得を身につけます。

株式会社に日常的に発生する取引を合理的・能率的に記帳する会計実務の取得を通し、会計理論の基本的な仕組みについて学びます。

作成した財務諸表(貸借対照表・損益計算書)を用いて、ビジネスの諸活動を理解し分析する能力と態度を身につけます。

会計を学ぶことにより、株式会社の財政状態、経営成績を明らかにし、経営分析を行います。

また、企業会計制度や企業会計原則について学習します。

### 日常生活や将来とのつながり

1年次の簿記の内容から発展し、主に株式会社の諸活動を計数的に把握できるようになり、経営活動の状況を判断できる能力や企業の状況を捉えることができます。生徒の皆さんが、企業会計に興味、関心をもてるような授業を心がけています。

会計で学ぶ計数感覚は、現代の企業活動には無くてはならない判断基準であり、大変重要なものです。商業活動のみならず、個人の生活でも重要な判断基準として活用することができます。

学習を通して、簿記検定を受験し、資格取得が可能ですので、自分の身に付いた知識が資格として進路に役立てることが可能です。資格取得を活かした大学入試にも対応することができる科目です。

### この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

教科書・問題集・プリントによる講義形式の授業形態及び演習を行います。

記帳に慣れるように各種検定試験の検定演習問題を多く解いていきます。

会計は技術の取得だと考えていますので、繰り返し問題を解くことにより着実に理解できるように指導していきます。そして、復習をしっかりと行うことが大切です。

### 到達目標

企業会計の役割や制度および財務諸表の作成に関する知識と技術を習得します。

財務諸表の意味や役割について理解するとともに、財務諸表から得られる情報を活用する能力と態度を身につけます。また、企業の実態を反映する財務諸表について理解を深めるとともに、分析したり活用したりできる能力と態度を育てます。

検定試験は、全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級会計(1月)の取得を目標とします。

### 評価の観点(評価方法)

#### ① 関心・意欲・態度(行動観察・提出物)

財務諸表の作成について関心を持ち、財務会計の意義や制度について主体的に取り組もうとするとともに、会計情報を提供し、活用する態度を身に付けている。

#### ② 思考・判断・表現(行動観察・提出物)

財務諸表の作成に関する諸課題への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、会計情報を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。

#### ③ 技能(行動観察・提出物・定期試験)

財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、会計情報を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。

#### ④ 知識・理解(提出物・定期試験)

財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、財務会計の意義や制度について理解している。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	財務会計 I	3	高校財務会計 I (実教出版)	最新段階式簿記検定問題集改訂版 1級財務会計(実教出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級財務会計(実教出版)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	財務会計の基礎 企業と企業会計 企業会計制度と企業会計基準 企業会計の歴史 資産 資産の分類と評価 流動資産(当座資産・棚卸資産等) 固定資産(有形固定資産等)	企業会計の意味と目的を理解する。 企業会計原則の役割と内容を理解する。 貸借対照表の役割や区分表示・様式など、その概略について理解する。 資産の分類と種類について理解する。 諸勘定への記帳方法を理解し習熟する。 棚卸資産の期末評価、棚卸減耗費、商品評価損の内容を理解し、処理方法を習熟する。 固定資産については、資本的支出と収益的支出の考え方について探究し、処理方法を明らかにする。	○		○	○
	※ 中間試験・問題集点検				○	
	負債と純資産 負債 純資産	負債の意味と分類を明らかにするとともに、分類基準を理解する。 流動負債と固定負債の意味について探究し、分類を明らかにする。 純資産の意味と分類を明らかにするとともに、分類基準を理解する。 資本金の増加・減少の意味について探究し、処理方法を明らかにする。 自己株式の意味と、処理方法について理解する。 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を中心に習熟する。		○	○	
	※ 期末試験・問題集点検				○	
二学期	損益計算 損益計算の意味と基準  営業損益の計算 経常損益の計算 当期純利益の計算	損益計算書の役割・区分・様式など、その概略について理解する。 費用・収益を項目ごとに分類し、計上する基準について理解し、記帳や計算方法を習熟する。 販売形態や営業種目などの相違による収益認識基準について探究し、それぞれの基準による処理方法を明らかにする。 損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解する。 損益計算書の作成について、会社計算規則による場合を中心に習熟する。	○		○	○
	※ 中間試験・問題集点検				○	
	財務諸表の作成 貸借対照表の作成 損益計算書の作成 その他の財務諸表の作成	報告式による貸借対照表および損益計算書の作成方法について理解する。 貸借対照表と損益計算書の形式、区分と科目の分類、配列などについて明らかにする。 株主資本等変動計算書の作成方法について理解する。		○	○	
	※ 期末試験・問題集点検				○	○
三学期	検定試験出題形式別演習 (全商簿記1級会計) 連結財務諸表 連結財務諸表の目的と連結範囲 連結財務諸表の作成 財務諸表の活用 財務諸表分析	検定試験模擬演習を行い理解する。 (仕訳の問題・計算の問題・決算の問題等)  連結財務諸表の意味を理解する。 親会社と子会社の意味と連結の範囲を理解する。 連結精算表を作成後、連結財務諸表の作成方法を習熟する。 財務諸表の分析方法について理解する。 実際に財務諸表分析を行い、モデルとなる企業の状態について探究する。			○	○
	※ 学年末試験・問題集点検				○	○

備考	○全商簿記実務検定1級財務会計受験 ○検定直前補講(1月)
----	----------------------------------